

講義コード	20DASa1002		
講義名	光赤外線天文学演習 I		
講義開講時期	通年（後期開始） 2nd - 1st		
基準単位数	2		
代表曜日			
代表時限			
研究科等	物理科学研究科		
専攻・プログラム	天文科学専攻		
科目区分	光赤外線天文学		
授業を担当する教員	今西 昌俊		
担当教員			
<table border="1"> <tr> <td><b>氏名</b></td> </tr> <tr> <td>今西 昌俊</td> </tr> </table>		<b>氏名</b>	今西 昌俊
<b>氏名</b>			
今西 昌俊			
<b>授業の概要</b>			
<p>専攻の教育目標を達成するため講義等を履修することと並んで、近接研究分野の教員、PD、大学院生等とともに、研究動向を把握するための学術論文の紹介、まとまったアイデアを知るための概説論文や教科書の輪読等を通じて、研究の基礎的事項を整理し、自らの研究の立ち位置を確認することが重要である。本演習（EEEゼミ「銀河・宇宙論・AGN論文速報ゼミ」）は、銀河・宇宙論・AGN分野で毎週行われている論文報告会に参加し、所定の学修をした1年次、2年次院生に対して専攻専門科目（演習）としてその履修を認定するものである。</p>			
<b>到達目標</b>			
<p>新規学術論文をサーベイし自らの見解とともに紹介する、概説論文や教科書に書かれている内容を咀嚼し参加者と科学的議論を行うことで、銀河、宇宙論、活動銀河中心核の天文学分野における研究の動向を大きくつかみ、自らの研究の位置づけを明確に示すことができるようになることを到達目標とする。ひいては自らの研究を広く研究分野の異なる研究者に理解させ、科学的議論を行うことができる基礎を身につける。</p>			
<b>成績評価基準</b>			
<hr/>			
<b>成績評価方法</b>			
<p>論文報告会において、年2回以上論文紹介を担当する。6割以上出席し、科学的質疑に参加する。成績は、P合格もしくはF不合格で判定することとし、これらをもって、合格の基準とする。</p>			

**授業計画**

論文報告会は、4月～7月、9月～3月の期間、1時間～1時間30分、週に1回の頻度で開かれる。

**実施場所**

国立天文台 2Fすばるセミナー室

**使用言語**

日本語（必要に応じて英語）

**教科書・参考図書**

以下のページを使用することを想定。  
arXiv (<https://arxiv.org/archive/astro-ph/Astrophysics>)

**関連URL**

<https://arxiv.org/archive/astro-ph/Astrophysics>

**関連URLの説明**

天文学新着論文のサーバー

**備考**

銀河・宇宙論・AGN

**キーワード**

銀河・宇宙論・AGN